

発言通告書の要旨(一般質問)

令和5年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/7 (木)	1	18 横山 強	1、讃岐造船跡地利用について	讃岐造船跡地利用の完成に向けての取り組みの方向性等を、あらゆる角度から、広範囲に詳細を伺う。
			2、総合計画の重点プロジェクトなど各担当課に関わる予算等の無駄遣いについて	(1)各担当課が取り組みとしている基本設計予算と実施設計に関わる予算に関わる事業費等を無駄遣いとしている予算計上額等に対し、疑問点と問題点と改善点について広範囲に伺う。 (2)各担当課が取り組む業務委託等に関わる無駄遣いをしている予算計上と執行についての問題点と改善に向けての取り組み等を広範囲に伺う。 (3)各課が過剰予算計上額の問題点と業者から予算計上額に沿った見積りに対する問題点と疑問点と改善点等を広範囲に伺う。
	2	9 石井勢三	1、熱中症対策について	全国的に今年の夏は、異常なほどの高温に、熱中症で倒れる方が続出している。地球温暖化等の原因により今後、この暑さは、ますます厳しくなると考えられる。 (1)熱中症対策の現状について (2)熱中症から地域住民の生命を守るための今後取り組みの推進について (3)学校での熱中症予防対策の取り組みについて
			2、認知症予防対策について	2023年6月14日、認知症基本法案が参議院本会議で可決となり、認知症基本法が成立した。「認知症基本法」とは、認知症がある人でも尊厳を持って社会の一員として自分らしく生きるための支援や、認知症予防のための施策を定めるための法律。認知症支援のための施策を策定・実施することが求められるが、今後の取り組みについての考えを伺う。
			3、ボランティア活動証明書について	ボランティア活動証明書とは、ボランティア活動に参加したことを形に残し、可視化するために、各団体が発行する証明書。この証明書の発行によって、ますます地域でボランティア活動に参加する機会が増え、参加者の経験の幅を広げるきっかけになることを目指すためにも、三豊市での発行を期待するが、もうすでに発行しているのか、現状と考えを伺う。
	3	5 金子辰男	1、職員の適正配置について	市の財産とも言える職員、格別合併以来経験豊富な職員、先輩たちを鏡として育ってきた若いやる気のある職員、市役所は人材の宝庫だと感じている。人材の活用については職場活動、職員研修、人事評価システムなどにより、その時代の変化に基づき、市民サービス向上という本来の目的に向け、現在いる人材を最大限に活用して行政運営にあたってきたと思う。ここで改めて、職員の適正配置についての考え方、外部登用の考え方について、またプロフェッショナルな職員育成についての考え方を伺う。
			2、市民への人権啓発の取り組みについて	関東大震災が発生したのは、1923年9月1日午前11時58分最大震度7、昼前で、しかも強風が吹き荒れていたことから、都市火災は瞬く間に広がり、東京市の44%、横浜市の80%が消失した。死者、行方不明者は10万5千人。多くの人が公園や河川敷などの広く開けた場所に避難した。群衆化する人たち。流言は混乱と不安の中拡散された。大正12年という時代背景の中、香川県から千葉県福田村に行商に行っていた15名の人たちがいた。うち幼児を含む9名が福田村と隣の田中村の自警団によって惨殺された。誤った情報により無惨な事件となり、関東大震災から100年が経った現在も双方の関係者が心痛めている。福田村事件の実態をどう把握し、市民への人権啓発にいかに取り組みもうとしているのか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和5年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/7 (木)	4	10 近藤 武	1、ふるさと納税について	ふるさと納税の今後の展望や外部委託について、また自動販売機によるふるさと納税とスマホでできる旅先納税の導入について問う。
			2、民間活用維持管理手法と広告収入の導入について	大阪市ではトイレのネーミングライツにて年間35万円、また管理費や維持費も民間が出資している。広告収入とスポンサー収入については、駅の階段、陸橋などあらゆるものに広告ができるように考えている。財政の厳しい本市にとって導入すべきであるが考えを問う。
			3、公共施設の管理について	公共施設の包括管理を実施している自治体が増えている。本市の施設等の管理の現状と今後について問う。
	5	11 高木 修	1、道路路側からの樹木の覆いかぶさり対策について	毎年、夏から秋にかけて、樹木の成長が早く、路側から道路への覆いかぶさりによって通行を妨げている。これは、毎年繰り返していることであり、計画的な予算化で、適切な対応が必要と思われるが執行部の見解は。
			2、投票率向上への取組みについて	市議会議員選挙の投票率が低迷しており、平成30年1月執行の市議選投票率が59.37%、令和4年1月の選挙が54.25%とじり貧状態になっている。何か抜本的な手段を講じる時期に来ているのではないか。
	9/8 (金)	6	16 込山文吉	1、部活動の地域移行について
2、スポーツ拠点整備について				学校部活動は学校施設を中心に、部活動に励んでいる。土日を中心に、地域移行で地域クラブが使用する。 三豊市は学校数も多く、再編協議もあるが、今夏のような気候が続くことを考えると、体育館のエアコンは必須と考える。豊中統合小学校の開校に合わせて、学校体育館空調設備新設への調査をする考えを聞く。
3、公共工事の平準化について				令和6年度から建設業にも労働時間規制が本格適用される。 高齢化、人口減少社会において地域の人材確保が年々難しくなっている中で、建設業界の活性化による担い手確保のためには公共工事の平準化が必要である。公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律において平準化について規定され、平準化の取組が地方公共団体等の努力義務とされている。 公共工事の平準化を導入についての考えを聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和5年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/8 (金)	7	15 水本真奈美	1、障がい者支援について	障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が2022年5月25日に施行された。手話や字幕、点字の提供など、情報分野でのバリアフリー化を促進する法律で、障がい者の情報アクセスや意思疎通に関する施策を総合的に推進することが目的である。①情報機器の調達、利用促進②視覚障がい者のための音声コードの利用促進③聴覚障がい者のための電話リレーサービスの周知、利用④手話に関する施策の充実などのほか本市の取り組みについて考えを伺う。
			2、救急救命率の向上について	(1)AED屋外設置について (2)AEDケースに三角巾を配備する考え
			3、子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)接種について	(1)男性へのHPVワクチン接種推進について (2)令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、合わせて積極的勧奨控えの影響を受けた世代に対してもキャッチアップ接種が開始された。公費によるキャッチアップ接種は令和6年度末、3年間の時限措置となっている。接種期限を迎える高1～27歳相当の未接種者全員に対しての対応について伺う。
	8	7 田中達也	1、市民への情報発信	三豊市LINE公式アカウントの運用が始まってから、2年が過ぎようとしている。運用状況について確認しつつ、市の情報発信が目指す形を問う。 また、「市民が自ら情報を受け取ること」に対する動機付けとなるような取り組みの導入を提案し、市長の見解を問う。
			2、ICT教育の取り組み状況	(1)「令和4年度全国学力・学習状況調査」を見ると、ICT端末の活用状況に関する調査項目で香川県は全国平均を下回っており、特に「1人1台端末を家庭で利用できるようにしている学校の割合」という問に対する、「毎日持ち帰り&利用」+「毎日持ち帰り&時々利用」の回答は0%であった。三豊市の回答と現状、今後の対応について聞く。 (2)8月に三豊市教育委員会が主催した「SNSマガジン講座」は大変素晴らしいものであったが、対象とする市内中高生の参加は極めて少なかった。なぜこうなったのか、どう改善していくべきかについて、教育委員会の見解を問う。
			3、警報発令時の対応	三豊市に警報が発令された場合、小中学校・幼稚園・放課後児童クラブ等は臨時休業・自宅待機となるようマニュアルで指示されており、近年多くなった局地的な大雨に対しても警報は市全域に出され、全く影響のないエリアにもマニュアル通り適応されている。保護者にとっては、急遽仕事に穴をあけて対応する必要が生じるため、改善が必要と考える。 執行部の見解を問う。
	9	3 瀧本哲史	1、部活動の地域移行について	三豊市は、現在、部活動の地域移行に積極的に取り組んでいると認識している。 令和5年9月に、関連したイベントなども行われる予定と聞く。このようなイベントや、令和5年2月に設立された(一社)三豊市文化・スポーツ振興事業団との関連や狙いについて問う。
			2、みとよ市民病院について	令和4年に開院して現在1年を過ぎた三豊市立みとよ市民病院について、様々な問題が浮上している。 (1)現状の問題点 (2)設定している課題 (3)将来的な方針 以上、3点について問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和5年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/8 (金)	10	1 西山彰人	1、政策の進め方について	三豊市の政策を進めるにあたり、「みとよ」の知名度向上を意識してはどうか。
			2、三豊市の危機管理について	パワハラや違法ではと思われる職務の遂行がみられる。市民に不安や不信感を与えることをなくすることも、危機管理だと思うがいかがか。これらは危機管理に対する認識不足があると思われる。そのためのマニュアルを作るべきと思うがどうか。
9/11 (月)	11	13 丸戸研二	1、令和6年度当初予算の編成に向けて	(1)多極分散型まちづくりと地域の均衡ある発展 考え方に変更はないか。 (2)政策課題 ①根幹的主要事業の推進 ②農林・土木関係事業 ③産業振興 ④新しい政策課題 (3)財源の確保 (4)行政改革の必要性 これまででどう取り組みどのような効果を上げたのか。 (5)今後の政策展開と令和6年度予算の位置づけ
			2、不登校ゼロを目指して	(1)これまでの質問事項とその後 ①令和4年12月議会 ②令和5年6月議会 (2)デジタル機器の活用 ①GIGAスクール構想の事業運用 ②リモートの拡大運用 (3)誰一人取り残さないための体制強化 ①スタッフの確保 ②組織力と目に見える効果
	12	6 湯口 新	1、父母ヶ浜駐車場の整備について	多くの方が訪れている父母ヶ浜は三豊市の観光の中心である。観光を産業化するにあたっては計画的な整備と今後のビジョンが必要であると考えるが、未だ市としての観光を産業化していこうとする計画やビジョンは示されていない。父母ヶ浜駐車場整備の面から観光産業化の考えを伺う。
			2、提出した要望書の確認方法について	市民から「過去に提出した道路関係の要望書の現状がわからない、わかりにくい」という意見を頂いた。要望書取り扱いのマニュアル化については過去の一般質問で「取り組む」という答弁をいただいております。マニュアル化されているはずであるので、今のデジタル技術を使えば市民が簡単に要望書の現状を確認することは可能であると考えます。改善してはどうか伺う。
			3、人事異動時の対応について	人事異動により、仕事の質の低下やモチベーションの低下につながらないような対策はとれているのか。
			4、非常用におけるトイレ問題の対策について	非常時に大きな問題になりえるトイレは、通常時から備蓄しておくだけではなく、使い方を練習しておいたほうが良いと聞く。非常時に市民がトイレ問題を抱えることがないように対策が必要であると考えがいかがか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和5年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/11 (月)	13	12 岩田秀樹	1、農業再生へ有機給食を供給できる取り組みを	日本の食料自給率38%、肥料・原油ほとんどすべて輸入に頼っている。環境を生かし、経済価値を生み出すために、数年かけてでも農薬や化学肥料の使用から有機に切り替え、原価を上乗せして学校給食用に買取りする制度を作る取り組みが必要ではないか。
			2、学校の教室断熱対策を推進し、エネルギーの自給自足を目指した取り組みを	猛暑はだんだん長くなってきている。教室の温度を適正にし、経費をかけずに進めることが求められているのではないか。断熱対策として、天井裏に断熱材を入れる、屋根に断熱塗料を塗る、窓際にアルミホイルを張った板を張るなどして室内温度を上げない対策に取り組んでいる地域もある。電気代の削減対策も必要ではないか。
			3、豊中地区小学校統廃合計画について	統合計画の器は、この議会で場所が決定し建設の準備が進められるものと思う。新しくできる学校は、三豊で最大の小学校になる。教育委員会としてもモデルにするのではないかと思う。避難場所の設置、学童保育の取り組み、スクールバスの運行など、誰一人取り残すことのないよう住民周知説明を最優先に取り組むことをお願いしたい。
			4、学校避難所の実態と今後の取り組みについて	市内学校避難所の各種防災機能整備実態はどうなっているか。全国では、避難所になる学校は全体の9割と言われている。文科省は様々な導入の補助制度を設けている。体育館冷房整備率の実態はどうか。体育館への空調設置について取り組みを聞く。
	14	2 三木秀樹	1、永康病院(旧本館など)の撤去費用及び、三豊市の拠点医療機関への支援の在り方について	(1)永康病院本館及び管理棟の撤去費5億7,000万円(税込み)をなぜ、「みとよ市民病院」の財源で行うのか。15年前の平成20年3月末に「緊急耐震化必要(IS 0.18)の診断」を指摘されながら、「新病院への建設」は実行されても、本館棟等はいまだ「放置された」状態だ。一般会計で早急に撤去すべきと思うが、責任者の答弁を聞く。 (2)地域「開業医」の変化に対応する第2次救急医療機関として、存続・発展をフォローする三豊市本体(一般会計)からの定期的「繰り入れ」を行うことが必須と思うが、どうか。
			2、みとよ市民病院が信頼され、地域市民に愛着を持たれる病院になるための改善について	(1)看護師の「離職」増へいかに対応しているのか聞く。 ①「将来を見据えた」職員の接遇力の強化の点 ②病床利用率アップに伴う、職員の配置基準の弾力化の点 (2)事務職の在り方の改善が進められているのか聞く。 ①異動前提の職員体制では、医療の「日進月歩」の進捗に対応できないことは永康病院時代に「反省済み」ではないのか。職員が「総合管理職の意識」が持てるよう計画的に養成すべきと思うが。 ②事務長職は、病院事業経営に「強い意識」を持つ病院管理経験者を招へいする時代に入っていると思うが。